



長瀬頭首工を視察する総代

第十一代総代 現地研修 平成二十二年八月三十日



挨拶する高橋理事長

〈目 次〉

理事長臨時総代会あいさつ.....	2	平成21年度財産目録、平成22年度補正予算.....	9
臨時総代会、理事就任.....	3	平成22年度補正予算、伝言板.....	10
来賓祝辞.....	4~6	表彰、総代研修、維持管理組合長交代.....	11
平成21年度決算.....	7~8	おしらせ.....	12

また、米価下落による緊急的な対応に取り組んでほしいという県の要請を受けまして、理事会で協議したところ、二期分の過剰金の猶予期間延長を決定し、関係する組合員にご連絡をしたところでありま
す。資金計画の中で、有効にご利用いただければ幸
いと思っております。

以上申し上げましたが、米価の厳しい農業情勢の中にあつて、組合員皆様の負託に答えるべく、役員一同頑張つているところでありますので、総代各位の更なるご理解、ご協力をお願いいたしますとともに、本日の提案する議案、慎重なご審議の上、ご承認下さるよう、重ねてお願いを申し上げまして挨拶と致します。

平成二十二年 度

臨時総代会開催

理事補欠選挙、田中清次氏当選 提出議案原案どおり可決

平成二十二年 度臨時総代会が、去る十一月九日午後一時三十分より本区事務所にて開催されました。

総代定数五十名中四十七名が出席し、来賓に北川榮置賜総合支庁産業経済部農村整備課長、原田俊二川西町長、那須宗一長井市農林課長、宇津木耕一飯豊町産業振興課長のご臨席をいただきました。

議長には、川西町大字上小松吉田弘幸総代が選任され、慎重なる審議の結果、全議案原案通り可決されました。

第一被選挙区（飯豊地区）の役員補欠選挙については、定数一名に対し、二名の方が立候補され、総代による投票が行なわれました。開票結果については次のとおりです。

当選 田中 清次（飯豊町大字手ノ子）二十八票
井上 南（飯豊町大字高峰）十九票

● 議事

選第一号 白川土地改良区役員（理事）補欠選挙について

報第一号 平成二十一年度事業報告の承認について

認第一号 平成二十一年度一般会計歳入歳出決算書の承認について

認第二号 平成二十一年度特別会計基幹水利施設管理事業歳入歳出決算書の承認について

認第三号 平成二十一年度特別会計償還事業歳入歳出決算書の承認について

認第四号 平成二十一年度特別会計かんがい排水事業歳入歳出決算書の承認について

認第五号 平成二十一年度特別会計基盤整備事業歳入歳出決算書の承認について

認第六号 平成二十一年度特別会計地区除外等処理決済金歳入歳出決算書の承認について

認第七号 平成二十一年度特別会計職員退職給与基金積立歳入歳出決算書の承認について

認第八号 平成二十一年度特別会計役員退任慰労金積立歳入歳出決算書の承認について

認第九号 平成二十一年度特別会計特別積立金歳入歳出決算書の承認について

認第十号 平成二十一年度特別会計基本財産積立金歳入歳出決算書の承認について

認第十一号 平成二十一年度財産目録の承認について

認第十二号 専決処分した事件の承認について

議第一号 特別会計基盤整備事業歳入歳出第二回補正予算（案）について
議第二号 政策金融公庫資金（農林水産事業）の借入額の変更について

理事就任

補欠選挙により田中清次さんが当選され、十一月十六日就任されました。任期は平成二十六年七月二日までとなります。



◇ 理事

田中 清次（六八歳）新任

飯豊町大字手ノ子三九一

昭和十七年一月十一日生

○豊川、小白川維持管理組合担当



質問する内谷良一総代



議長 吉田弘幸総代



質問する五十嵐敏博総代



挙手による議決

来賓祝辞

置賜総合支庁産業経済部

農村整備課長 北川 榮 氏



皆さんご苦労様です。置賜総合支庁農村整備課の北川といいます。本日の臨時総代会にあたりまして、一言ご挨拶をさせていただきます。今年一年を振り返ってみますと、春先は異常低温でありましたし、夏はまたこれまで経験したことのない高温が続きました。農作物に大変大きな影響が出ました。ブドウやサクランボは着色が悪い、ラ・フランスも小粒だというような状況でございます。農家の皆さんにとっては大変厳しい一年でございましたが、さらに今、米価の下落、TPP環太平洋連携協定による関税撤廃交渉が追い討ちをかけているというような状況でございます。このような厳しい難局を乗り越えるため、置賜総合支庁は県庁と連携をとりまして、基盤整備を契機とした新たな産地形成支援事業というものをご計画しているところでございます。基盤整備事業の実施を契機としまして、水田、輪作に適した基盤の整備、戦略的作物の導入から営農の定着、加工販売や契約栽培までの体制構築などを、みなさん生産農家、JA全農やJAおきたま、さらには県と町の行政機関等が一丸となって進めるものです。今年度、こうぞく地区の基盤整備事業がスタート

しました。現在、工事の着工に向けまして、実施設計作業を進めておりまして、こうぞく地区ワーキンググループを立ち上げて、最新技術の地下水制御システムを導入、さらには野菜生産等の体制構築を検討しているところでございます。本日皆様にかう刷りの資料を二枚お配りさせていただきました。最初に青色の強い資料（次頁上段）をご覧いただきたいと思っております。基盤整備を契機とした新たな産地形成の支援イメージということでございます。左の絵は、ご承知の通りの基盤整備でございます。これは、皆様にとっても農家にとっても地域にとっても一大事業でございます。このような大きな事業を契機としまして、新たな産地作りのきっかけとしていきたいというのが支援事業でございます。右の方に絵が二つございます。上にモデル的な試験、展示圃場の設置という風にあります。「ホアス」という地下水制御システムというものでございます。今、国内にあります技術の中で最新の技術、これを導入していきたいと思っております。それからもう一つ下の写真でございますが、野菜生産などの機会体系実証展示ということでございます。新しい基盤を活用しまして、新たな輪作作物の産地作りというものを仕掛けていきたいということでございます。いろいろ課題はありますが、この難局を乗り越えるために、皆さんと一丸となりまして進めていきたいと思っております。もう一枚の、緑や橙色の資料（次頁下段）でございます。こうぞく地区の内容をまとめたものがございます。今お話ししましたワーキンググループを中心にししまして、基盤整備とあわせまして、畑作団地化というものを進めていきたいという風に考えているところでございます。ワーキンググループの

メンバーは、こうぞく地区施行委員会、川西町産業振興課、町の農業委員会、JA全農山形営農企画部、JA山形おきたま、土地改良区、総合支庁の関係課というところでございます。

さて、来年度の工事予算は二億三千四百万円を要求していたところでございますが、国の予算が大変厳しい中ではございますが、今年の九月県議会で補正成立になりました、原田町長さんからも全面的に支援をいただいたところでございまして、来年春季からの工事着工を予定しているところでございます。水田輪作はうまくいくはずがない、かつこいことは言うけど誰が何を作るんだ、これがこれまでの意識を変えながら、置賜総合支庁と県庁が連携をとりまして、新たな産地作りを支援してまいります。生産する側と販売先を見据えながら、関係者が一丸となって、基盤整備を進めていかなければならないという風に考えているところでございます。本日出席の総代や役員の皆様方からも、積極的なご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

最後になります。三千万円を目指す、県の「元気再生戦略」に対する皆様方からのご支援をお願いしまして挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

こうぞく地区

組織の概要

◆施行委員会

土地改良区理事会の補助機関として密接なる連絡のもとに完全な事業を施行するため以下の4つの専門委員会を構成する組織

工事委員会・換地委員会
評価委員会・検討委員会

◆ワーキンググループ

農業新技術である地下水制御システムFOEASの導入も検討し、水田畑作が可能な高生産性ほ場を整備するとともに営農計画（適正作物）及び食品加工業者からのキャベツ（重量野菜）契約栽培要望の実現を目指すため、関係機関が一体となってワーキンググループを設立しモデル的な取組みを推進するための組織。ワーキンググループ内での検討結果については、こうぞく地区施行委員会に提案する。

基盤整備を契機とした新たな産地形成の支援イメージ

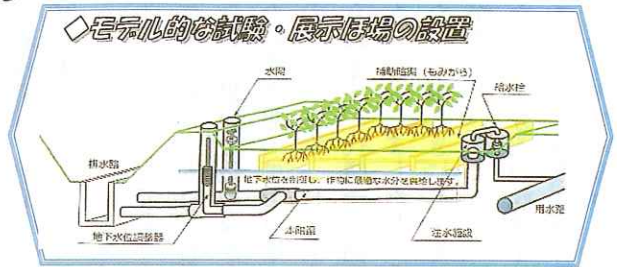
営農検討会

新しい野菜産地を作りたい！
 規模拡大して安定経営したい！
 灌漑化して豊かな作物を作りたい！

営農者の声や課題の解決のために地域住民の力を合わせて農地と水を守ります。
 会社が休みのときや農閑期は労働力不足が課題。施設・水灌漑保全の費用増加が懸念されます。
 水灌漑。先を思い届けてはばばハウスからの収穫機、作業効率を向上させます。
 日本一の水灌漑を実現してはばばハウスから収穫機、作業効率を向上させます。

集落の営農ビジョン

水灌漑が実現すれば、水灌漑を主とする畑作等のプロダクション化に取り組めます。目標は、営農生産者人を増やすこと。



◇野菜生産等の機械体系 実証・展示

「園芸産地 おきたま」確立プロジェクト 「基盤整備」を契機とした新たな産地形成支援事業

営農推進体制の再構築による営農戦略支援

- 【営農検討会（仮称）の再構築】
- 農業産出額の拡大を目指した地域戦略や営農ビジョンの作成
- 【営農推進体制の強化】
- 専門家やアドバイザーによる戦略的な営農の助言・指導とお試し栽培

農業産出額の拡大に向けた産地形成支援

- 【現地検討会・研修会の開催】
- 試験・展示ほ場2ヶ所での現地検討・研修会を開催
- 【営農戦略アラウトフォームの開催】
- 生産者と実需者、行政等の三者が一同に会した戦略会議を開催

基盤整備を契機とした営農チャレンジ支援

- 【モデル的な試験・展示ほ場の設置】
- 簡易な暗渠排水等を活用した試験ほ場や農業新技術や水利施設の展示ほ場の設置
- 【モデルほ場での実証調査】
- モデルほ場を活用した野菜等の試験栽培、基盤施設、機械化体系の実証調査



ほ場整備事業を契機とした畑作団地形成に向けた地域連携事例
 （こうづく地区 経営体育成基盤整備事業）

事業の概要

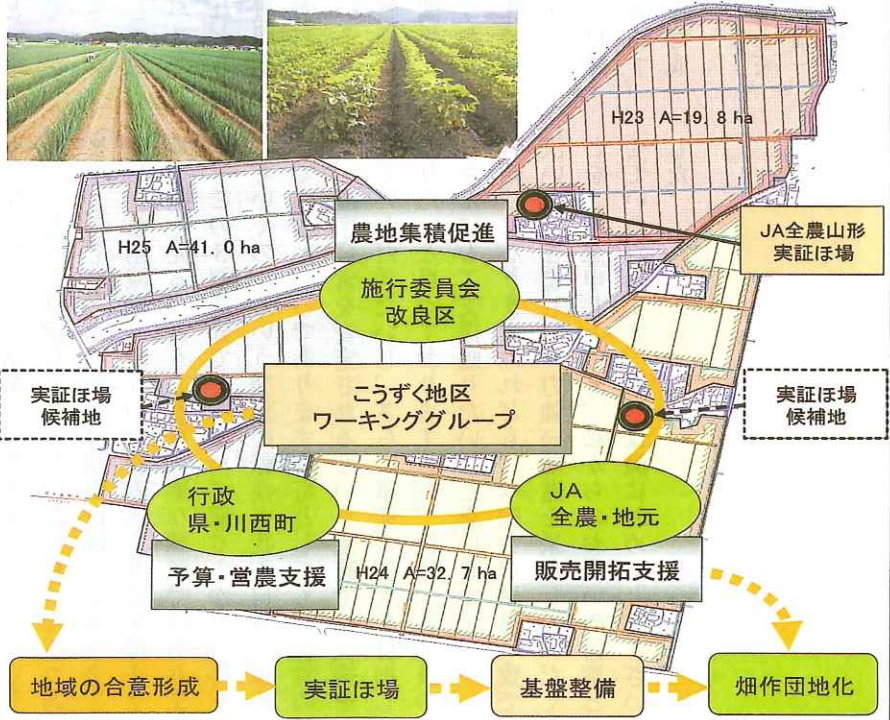
◆目的

本地区の生産基盤の現況は、10a区画で農道は狭く水路は素掘りであることから、これまで農業機械の大型化や農地流動化への阻害要因となっている。
 このため、本事業で生産基盤の条件を整え地域農業を持続的に発展させるために、担い手への農地集積を地域が一丸となって取り組み水田農業の確立と高生産性低コスト型農業に資するもの。



◆概要

地区名 こうづく地区
 関係市町村 山形県東置賜郡川西町
 事業工期 平成22年度～平成26年度
 総事業費 1,430百万円
 受益面積 93.5 ha
 主要工事 区画整理 93.5 ha
 暗渠排水 91.3 ha
 (地下かんがい「FOEAS」)
 計画作物 大豆・枝豆・ねぎ・アスパラなど



来賓祝辞

川西町長 原田俊二氏



みなさんこんにちは。今日は、白川土地改良区の臨時総代会、私までお招きいただきまして誠にありがとうございました。盛會に総代会が開催されますこと、お祝い申し上げます。今度の農業情勢については、高橋理事長さん、さらに北川課長さんからもありましたように、なかなか先が見えないですが、私自身はTPPも含めてでありますけれども、関税撤廃がすべて解決するわけではなくて、地域農業を守るということは、地域の村や暮らしを守るということにつきるわけでありまして、その地域農業が衰退するということは、日本の国力が低下すると、それくらい思いを込めながら様々な行動を起こしていきたいなと思っております。

十月の二十、二十一日と上京しまして、各県から出ておられます、代議士や国会議員、さらには農林大臣にもお会いしましたし、農林水産省も回って参りました。そのときにも、やはりあのTPPは大きな課題があるということで、強くお話をさせていただきました。あわせて、十分その認識を持ってもらいました。あわせて、土地改良等の投資的な経費、これも大幅に削減されているわけでありまして、将来の日

本の農業をどうするかという観点からは、土地改良事業等の投資的な経費の復活をぜひ果たしてほしいということで、大臣も十分に二十二年年度の補正にも盛り込ませていただいているということでしたし、さらに今回議案となります川西地区の件についても、二十三年年度の概算要求にあがってないという意味では、二十四年度以降がどうなるのか心配だと、しっかりとしたものにしてほしいというお願いをし、個別的なことについては十分に配慮をするということとでありました。あわせて、有力な議員、有力な代議士の働きによって箇所付けもなされているというようなことでありますので、要請活動もやっていたいかなければならない思いであります。北川課長さんから、こうずく地区のことについてはいろいろとご説明がありました。町としては、今長井南バイパスが完成に向けて、白川橋が建設中でありまして、ここから北に向かうことも大事なんです、置賜病院からどう米沢と結ぶかという意味で、長井南バイパスの南進を町として力強く運動を展開しているところがあります。それとこうずく地区のほ場整備がだぶる部分がありますので、建設関係と農林関係が連携をとって事業推進を果たしてほしいというお願いをしているところであります。そういう意味では、県の方も、土木部の方も、国道二八七号線バイパス整備とあわせて少なくとも県道高島川西線までは路線決定を早めたいという話までいただいております。そういう意味では、このこうずく地区の経営体育成基盤事業を成功することを望んでおります。

私もうひとつ仕事をさせていただいております、県の長期計画になりますけれども、農業農村整備一〇カ年計画の策定委員をさせていただいております。その策定作業の中で、鮭川村の経営体育成事業を九

月末視察させていただきました。ネギの生産をされて、昨年売り上げが千五百万円だったのが今年は一億五千万円くらいになりそうだとという一面記事になったところでありました。田んぼの真ん中に一・五ヘクタールのネギの団地が三枚並んでおりまして、とても広大な土地でした。去年は失敗したそうでありまして、排水対策で暗渠を入れたということ、今では長雨が続き雨やんでから二時間三時間位で機械が入れるようになり、水の管理を徹底する事によりこのようなネギの栽培ができるようになったという話をいただきまして、我々もそういったものを目指していきたいなと思った所でありまして。今後とも、米の作付け制限は続くであります。うし、3割減反というのは呑み込まざるを得ません。米を高く売るといっても大事な課題ではあります。が、この3割部分でどうやって稼ぐのか、所得を上げていくのかという発想の転換も我々自身、求められているところでもあります。町としても、経営の確立、農家経営を安定されるという意味では支援をさせていただきます。さらに事業の拡大を目指して参りたいと思っておりますので、総代、各委員のみなさんにもご支援賜りたいと思います。

結びになりますけれども、本総会が満場一致で議決いただきました、力強い前進を果たしていただくことを祈念申し上げて、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。今日は誠にありがとうございます。

平成21年度会計決算の報告

一般会計

歳入合計 241,146,330円

組合費	78.91%	190,300,267円	平成21年度賦課金
助成金	0.41%	1,000,000円	市町より
補助金	3.97%	9,577,650円	維持管理適正化事業
受託料	0%	0円	
雑収入	2.47%	5,962,758円	過年度賦課金、手数料等
繰越金	8.73%	21,052,933円	前年度より
繰入金	4.65%	11,217,722円	各特別会計より
不動産収入	0.84%	2,035,000円	土地・建物賃貸料
財産収入	0%	0円	

歳出合計 220,178,362円

事務所費	38.81%	85,454,490円	総代・役員費、事務費等
維持管理費	37.53%	82,639,589円	維持管理費
区債及び借入金	0.04%	95,890円	一時借入金利息
財産費	18.55%	40,846,000円	退職給与基金、特別積立金、基本財産積立金
負担金及び寄附金	5.06%	11,142,393円	法定負担金、その他負担金

繰越額 20,967,968円

特別会計

歳出合計 24,726,420円 **基幹水利施設管理事業** 歳入合計 24,726,420円

基幹水利施設管理事業 24,726,420円	基幹水利施設管理事業 24,726,420円
---------------------------	---------------------------

繰越額 0円

歳出合計 35,826,504円 **償還事業** 歳入合計 48,236,602円

繰出金 8,417,722円	区債及び借入金 27,408,782円	賦課金 10,436,470円	助成金 10,862,631円	繰越金 11,963,018円	繰入金 13,684,644円
-------------------	------------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------

繰越額 12,410,098円

雑収入 1,289,839円

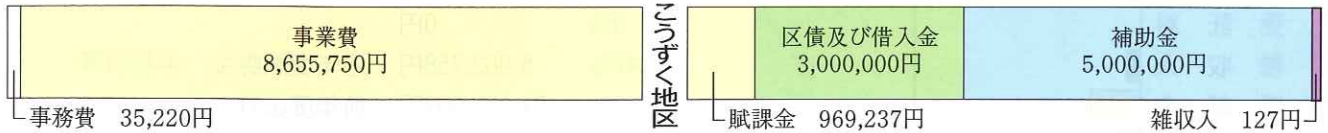
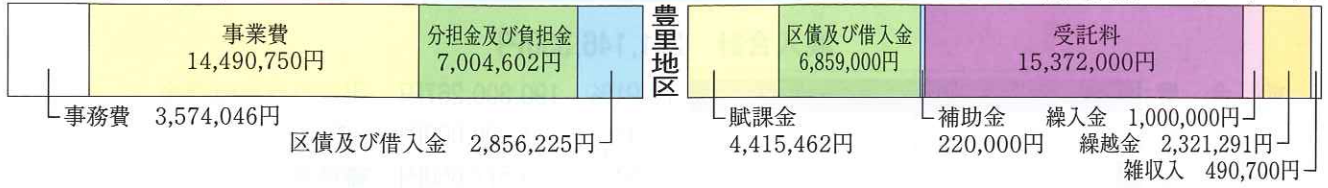
歳出合計 60,152,840円 **かんがい排水事業** 歳入合計 61,331,547円

事業費 45,636,567円	区債及び借入金 28,965,000円	補助金 26,152,500円
事務所費 1,644,207円	賦課金 5,294,338円	繰越金 824,754円
分担金及び負担金 7,851,749円	区債及び借入金 5,020,317円	雑収入 94,955円

繰越額 1,178,707円

平成21年度会計決算の報告

歳出合計 41,616,593円 **基盤整備事業** 歳入合計 44,647,817円



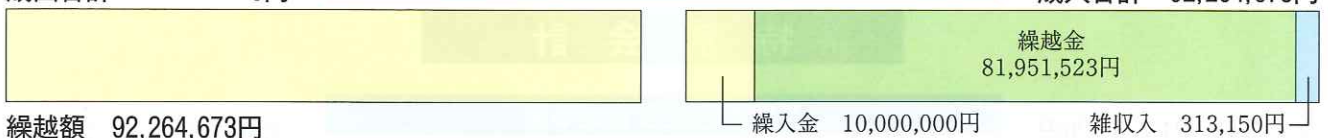
繰越額 3,031,224円

歳出合計 0円 **地区除外等処理決済金** 歳入合計 15,047,283円



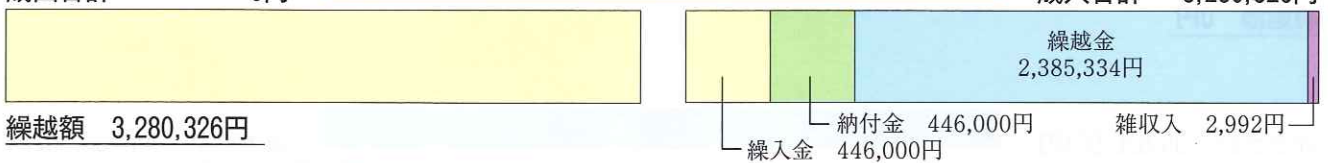
繰越額 15,047,283円

歳出合計 0円 **職員退職給与基金積立** 歳入合計 92,264,673円



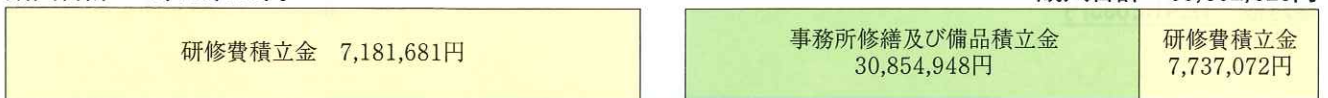
繰越額 92,264,673円

歳出合計 0円 **役員退任慰労金積立** 歳入合計 3,280,326円



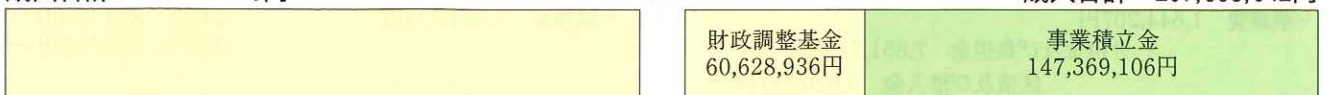
繰越額 3,280,326円

歳出合計 7,181,681円 **特別積立金** 歳入合計 38,592,020円



繰越額 31,410,339円

歳出合計 0円 **基本財産積立金** 歳入合計 207,998,042円



繰越額 207,998,042円

平成21年度 財産目録

【資産】

【負債】

(単位：円)

適 用			金 額	適 用			金 額
流動資産			418,483,730	長期負債	借 入 金		248,336,512
	現金及び貯金	貯 金	37,587,997			日本政策金融公庫	166,400,393
	未 収 入 金	未収賦課金使用料	29,974,070			全国土地改良資金協会	3,156,000
	特 定 資 産	各種積立金	142,002,621			山形おきたま農協	78,780,119
	基 本 財 産	出 資 金 等	208,919,042				350,000,663
固定資産			113,275,269	短期負債	積 立 金	地区除外等	15,047,283
	土 地	事務所敷地、他	61,971,322			処理決済金	
	建 物 設 備 費	事務所、設備	44,354,459			職員退職給与	92,264,673
	機 械 器 具	機械、車両	2,704,762			基金積立金	
	備 品	机、事務機器	4,244,726			役員退任慰労金積立金	3,280,326
				特別積立金	31,410,339		
				基本財産積立金	207,998,042		
資 産 合 計			531,758,999	負 債 合 計			598,337,175

平成22年度 会計別補正予算総括表

(単位：千円)

歳 入

◎ 一 般 会 計 (第1回)

歳 出

款	既決予算	補正予算	比 較		款	既決予算	補正予算	比 較	
			増	減				増	減
6.繰越金	8,000	20,900	12,900	—	1.事務所費	94,710	95,610	900	—
					2.維持管理費	88,080	94,080	6,000	—
					4.財産費	19,870	25,870	6,000	—
計	219,420	232,320	12,900	—	計	219,420	232,320	12,900	—

歳 入

◎ 特別会計かんがい排水事業 (第1回)

歳 出

款	既決予算	補正予算	比 較		款	既決予算	補正予算	比 較	
			増	減				増	減
1.白川左岸地区	59,800	60,064	264	—	1.白川左岸地区	59,800	60,064	264	—
計	59,800	60,064	264	—	計	59,800	60,064	264	—

歳 入

◎ 特別会計基盤整備事業 (第1回)

歳 出

款	既決予算	補正予算	比 較		款	既決予算	補正予算	比 較	
			増	減				増	減
1.豊里地区	30,800	30,926	126	—	1.豊里地区	30,800	30,926	126	—
2.こうずく地区	17,500	17,759	259	—	2.こうずく地区	17,500	17,759	259	—
計	48,300	48,685	385	—	計	48,300	48,685	385	—

歳 入

◎ 特別会計基盤整備事業 (第2回)

歳 出

款	既決予算	補正予算	比 較		款	既決予算	補正予算	比 較	
			増	減				増	減
2.こうずく地区	17,759	42,659	24,900	—	2.こうずく地区	17,759	42,659	24,900	—
計	48,685	73,585	24,900	—	計	48,685	73,585	24,900	—

歳入

◎特別会計特別積立金

歳出

款	既決予算	補正予算	比較		款	既決予算	補正予算	比較	
			増	減				増	減
1.事務所修繕及び備品積立	33,440	34,440	1,000	—	1.事務所修繕及び備品積立	33,440	34,440	1,000	—
計	35,850	36,850	1,000	—	計	35,850	36,850	1,000	—

歳入

◎特別会計基本財産積立金

歳出

款	既決予算	補正予算	比較		款	既決予算	補正予算	比較	
			増	減				増	減
1.財政調整基金	65,680	70,680	5,000	—	1.財政調整基金	65,680	70,680	5,000	—
計	208,980	213,980	5,000	—	計	208,980	213,980	5,000	—

伝言板 こんな時は必ず届出をお願いします!!

- 農地を売買及び交換並びに贈与したとき
- 農業者年金などにより経営を移譲するとき
- 農地を賃借又は解約したとき
- 組合員が亡くなったとき

☆組合員の交替については、「組合員資格得喪通知書」の提出義務があります。

- 農地を転用する場合（田を宅地等にする場合）
 - 公共事業等（道路改修、河川改修等）により農地が買収されたとき
- 「地区除外申請書」「農地転用等の通知」の提出をお願いします。地区除外については決済金を納入していただくことになります。

☆上記組合員交替、地区除外について届出がない場合は賦課の変更はできませんので必ず届けて下さい。

- 自動口座振替について組合員の交代に伴い口座の変更があったとき

「貯金口座振替依頼書（変更）」の提出をお願いします。

☆賦課金の口座自動振替をご利用ください。お手続きは改良区でお願いします。

取扱金融機関は山形おきたま農業協同組合と、山形銀行です。

担当 総務課賦課徴収係

- 土地改良施設を出入り口に利用するとき
- 家庭排水や浄化槽処理水を水路に放流するとき

「土地改良財産他目的使用承認申請書」の提出をお願いします。

- 公共下水道、集落排水処理施設等に接続したとき

「土地改良財産他目的使用中止届」の提出をお願いします。

★平成21年4月より、個人住宅への進入路、個人住宅の浄化槽排水の他目的使用を新規申請する場合、使用料・手数料を承認時一括前納していただくこととなりました。以前より使用されている場合は更新手続きのご連絡をいたしますのでご来所願います。その際に使用料についてご説明いたします。

担当 管理課維持管理係

表彰

第二十九回山形県土地改良事業推進大会が平成二十二年十一月十五日山形交流プラザ「ビックウイング」で開催されました。

大会席上、長年土地改良事業に貢献された人々の表彰が行われ、山形県知事感謝状が九名の方々に、山形県土地改良事業団体連合会長表彰状が二十四名の方々に贈られました。本区では井上総務課長が表彰の栄に輝きました。

山形県知事感謝状

総務課長 井上 貞夫



山形県知事より感謝状を授与される井上総務課長

総代現地研修

平成二十二年八月三十日、総代三十四名、役員十二名による現地研修が行なわれました。最初に事務所大会議室において開会行事を行い、その後事務所に隣接する用水管理システムの中央管理所を見学し、平成二十二年年度竣工を迎える豊里地区経営体育成基盤整備事業地区、長瀬頭首工、西高峰頭首工、白川ダムの犬川、黒川取水塔管理所、犬黒幹線の分水工、小松頭首工、平成二十二年年度より着工された「こうぞく地区経営体育成基盤整備事業」の現地を視察しました。

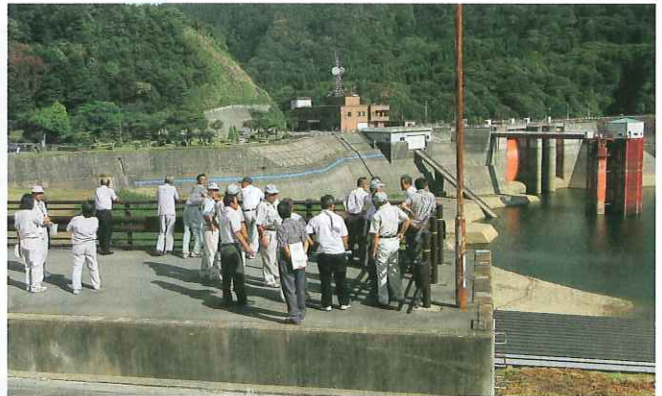
この研修に参加された総代の皆様には白川土地改良区の事業、用水施設管理、維持管理等について理解を深めていただきました。



用水管理システム中央管理所において説明を受ける総代



犬川上流分水工



白川ダム、犬川黒川取水塔管理所

維持管理組合担当理事・組合長名簿

任期：理事 平成26年7月2日 組合長 平成25年3月31日

維持管理組合	担当理事名	維持管理組合長名
豊川	田中 清次	井上 與五平
小白川		国太郎
萩生	横澤 浩雄	樋口 仁一
白川左岸	佐原 守	手塚 國一
添川	菅野 重郎	中梅 津一
歌丸泉		鈴木 高
今大塚	金子 昭雄	安部 栄一
西大塚	加藤 俊一	加藤 富
小松左岸		小倉 豊助
他屋	高橋 昭一	佐藤 嘉彦
小松右岸	米野 則雄	平 永
犬川下流	村山 邦男	大河原 弘
玉庭		本間 昌司
黒川	高橋 文勝	佐々木 勇

H22-6-30以降交代

維持管理組合長の交代のお知らせ

小松左岸維持管理組合の高橋孝宣氏が逝去され、新たに小倉豊助氏が維持管理組合長に就任されました。

豊川維持管理組合長の田中清次氏が退職され、新たに井上與五平氏が維持管理組合長に就任されました。任期については残任期間の平成二十五年三月三十一日までとなります。

お悔やみ

小松左岸維持管理組合長

高橋孝宣氏が平成二十一年八月十七日逝去されました。

慎んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈りいたします。

お知らせ



子供達を水の事故から
守りましょう。

冬期間は水路が雪に隠れています。雪解け時には、雪がやわらかくなり、増水し水路の近くは危険です。
各地で農業用水路による子供の水難事故が起きております。
子供を水路付近で絶対遊ばせないように注意しましょう。

当改良区では、地域の皆さんに土地改良区の果たす役割について理解していただくため、各地区の子供会、自治会、生産組合、婦人サークルの団体等の皆さんによる、改良区の施設見学、研修を受付けております。

国営白川農業水利事業の記録映画、農業用水の多面的機能についての映画をDVDによりご覧いただけます。

ご希望の方は、総務課までご連絡ください。

TEL 0238-88-9331

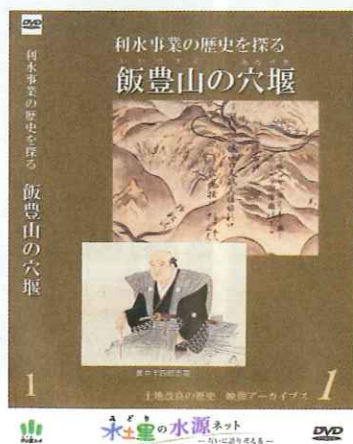
土地改良の歴史

映像アーカイブス

山形県内の歴史的な土地改良施設の記録映像として置賜管内の「飯豊山の穴堰」「屋代郷の大谷地」、「黒井堰」の3箇所が作成されております。

時間は約十三分、DVDとなっておりますので気軽ご覧いただけます。ご希望の方は貸出しいたしますのでご連絡ください。

連絡先 白川土地改良区総務課



田畑をうるおす水。この水を得るために、奥深い飯豊山中に先人が作った農業用水のトンネル「穴堰」があります。この穴堰の計画は1798年、奥田村（川西町）の村役人横山平左衛門が、米沢藩にお願いしたことに始まります。米沢藩は土木水利に実績が多く信頼の厚かった家臣 黒井半四郎忠寄に調査設計を命じ、1818年8月念願の穴堰のトンネル工事が完成し玉川の水を白川に引くことができました。翌年の1819年には長堀堰の幅を広げる工事を行い米沢藩の領内でも最大の堰が完成し、安心して農業が出来るようになったのです。1980年白川ダムの完成により「穴堰」は役割を終えました。黒井半四郎忠寄の夢がまさに190年の時の流れを経て実現したのです。「穴堰」は県の史蹟文化財として飯豊山の山ふところにその姿を横たえています。

注目記事

十二月三日から八日までの毎日新聞に「農政転換置賜の穀倉から」という特集記事が掲載されました。管内の組合員、第一回は川西町高豆蔻の佐藤総一さん、第二回が川西町西大塚の関川和博さん、第四回が川西町上奥田の高橋文勝さんが取材を受け、現在の農業経営の状況等が紹介されました。ご覧になりたい方はご連絡ください。

編集後記

今年役員・総代の選挙、臨時総代会の開催と、それに伴い区報の発行も三回目となりました。毎年ほぼ一回の発行であったので今年改良区では少し身近に感じて頂いたのではないのでしょうか。農業情勢は戸別所得補償制度が始まるも、どのように実施されるかの不安、米価下落のショック、TTPの問題などあまり明ると言える年ではなかったかもしれませんが。来年こそは明るい年にと願います。

ホームページアドレス
<http://www.shirakawa-sanac.jp>